



## 2023年8月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年1月12日

上場会社名 マニー株式会社  
 コード番号 7730 URL <http://www.mani.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表執行役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役副社長  
 四半期報告書提出予定日 2023年1月13日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 齊藤 雅彦  
 (氏名) 高橋 一夫  
 TEL 028-667-1811

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年8月期第1四半期の連結業績(2022年9月1日～2022年11月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年8月期第1四半期	6,105	29.1	1,748	2.1	1,736	9.2	1,299	1.8
2022年8月期第1四半期	4,728	12.6	1,713	22.1	1,911	50.3	1,322	34.4

(注) 包括利益 2023年8月期第1四半期 1,348百万円 (23.1%) 2022年8月期第1四半期 1,754百万円 (119.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年8月期第1四半期	13.20	
2022年8月期第1四半期	13.43	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年8月期第1四半期	49,109	44,991	91.6
2022年8月期	50,113	45,414	90.6

(参考) 自己資本 2023年8月期第1四半期 44,991百万円 2022年8月期 45,414百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年8月期		12.00		18.00	30.00
2023年8月期					
2023年8月期(予想)		14.00		19.00	33.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年8月期の連結業績予想(2022年9月1日～2023年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,150	15.5	3,350	8.8	3,350	1.2	2,350	0.7	23.88
通期	23,400	14.6	7,100	15.2	7,100	5.9	5,000	5.5	50.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.8「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年8月期1Q	106,911,000 株	2022年8月期	106,911,000 株
期末自己株式数	2023年8月期1Q	8,484,468 株	2022年8月期	8,484,468 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年8月期1Q	98,426,532 株	2022年8月期1Q	98,426,541 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(セグメント情報等) .....	9
(重要な後発事象) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）（以下、「新型コロナ」という。）への感染対策とワクチン接種が進み、多くの地域では経済活動への規制が緩和され、正常化は着実に進んでおります。一方で、ロシア・ウクライナ情勢による原材料・エネルギー価格の高騰、インフレリスクに対応した欧米諸国での政策金利の引き上げや急激な為替変動等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境下、当社グループは、「世界一の品質を世界のすみずみへ」という使命を掲げ、当社グループの製品を世界中に提供し、世界の人々の幸福に貢献することを目指しております。当社グループの更なる成長に向けて、2022年8月期より中期経営計画をスタートし、営業・生産・開発の各機能のグローバル化を進めることでビジネスモデルの変革を行い、企業理念実現のための取り組みを着実に進めております。当連結会計年度においては、中期経営計画の重点製品であるNiTiロータリーファイル<sup>1</sup>の量産体制構築と売上拡大に向けたマーケティング活動を強化し、硝子体鑷子<sup>2</sup>の国内発売及びMANIブランドで販売される歯科用修復材<sup>3</sup>の欧州先行販売に向けて準備を進めております。ドイツの連結子会社のGDFでは新本社工場を建設しており、2023年8月頃に完成を予定しております。さらに、国内ではグローバル生産体制の構築を目指してスマートファクトリー構想を推進し、今後の設計に向けた準備を進めております。今後も中期経営計画に基づく成長戦略により、企業価値の向上を目指してまいります。

(脚注)

<sup>1</sup>歯の歯髄と呼ばれる神経の治療法の1つである根管治療において、根管内の感染源除去に用いられる柔軟性の高いニッケルチタン製の歯科治療機器

<sup>2</sup>網膜剥離や糖尿病増殖性網膜症などの眼球疾患に対する治療法の1つである硝子体手術において、眼底の処置をするための眼科治療機器

<sup>3</sup>歯の欠損した部分を人工物で埋めることにより歯の形態を回復し、審美性を高める治療（歯冠修復治療、審美歯科治療）に使用される樹脂材料

当第1四半期連結累計期間における経営成績は以下のとおりです。

新型コロナの影響を受けた前年同期と比べ、国内、欧州、アジアを中心とした地域で需要が拡大し、売上高は6,105百万円(前年同期比29.1%増)となりました。一方、海外子会社における製造原価の上昇や販売の増加に伴う売上原価の増加に加え、人員体制の強化等による販売費及び一般管理費の増加により、営業利益は1,748百万円(同2.1%増)となりました。経常利益は売上高及び営業利益が増加した一方、為替差益が剥離したこと等により1,736百万円(同9.2%減)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は経常利益の減少及び法人税等調整額の減少等により1,299百万円(同1.8%減)となりました。

セグメント別の業績概況は、次のとおりです。なお、セグメントの売上高につきましては、外部顧客への売上高を記載しております。

	売上高		セグメント利益（営業利益）	
	百万円	前年同期比(%)	百万円	前年同期比(%)
サージカル関連製品	1,637	25.4	476	2.0
アイレス針関連製品	2,081	55.4	595	22.0
デンタル関連製品	2,386	14.5	677	△10.7
連結	6,105	29.1	1,748	2.1

(サージカル関連製品)

サージカル関連製品の売上高は1,637百万円（前年同期比25.4%増）、セグメント利益は476百万円（同2.0%増）となりました。品質評価の高い眼科ナイフの需要が中国を中心としたアジアや日本で拡大したことにより、前年同期から増収増益となりました。

(アイレス針関連製品)

アイレス針関連製品の売上高は2,081百万円（前年同期比55.4%増）、セグメント利益は595百万円（同22.0%増）となりました。製品需要の拡大を背景として、アイレス針の受注がアジア、北米並びに欧州において前年度より引き続き増加したことにより、大幅な増収増益となりました。

## (デンタル関連製品)

デンタル関連製品の売上高は2,386百万円(前年同期比14.5%増)、セグメント利益は677百万円(同10.7%減)となりました。欧州における歯科用修復材の販売や国内における歯科用根管治療機器(リーマ・ファイル類)及び歯科用回転切削機器(ダイヤモンド)の販売が堅調に推移したこと等により売上高は前年同期から増収となった一方、販売費及び一般管理費が前年同期より増加したこと等により、セグメント利益(営業利益)は減益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,004百万円減少し、49,109百万円となりました。これは主に、棚卸資産や現金及び預金、流動資産のその他に含まれる未収入金が減少したこと等によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ581百万円減少し、4,117百万円となりました。これは主に、未払金及び未払法人税等が減少したこと等によるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ422百万円減少し、44,991百万円となりました。これは主に、配当金の支払いにより利益剰余金が減少したこと等によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、「(1) 経営成績に関する説明」のとおりです。通期の連結業績予想につきましては、2022年10月11日の「2022年8月期 決算短信」で公表いたしました数値に現時点で変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	22,729	22,075
受取手形	206	230
売掛金	1,946	2,174
商品及び製品	778	696
仕掛品	3,639	3,417
原材料及び貯蔵品	2,062	2,038
その他	1,152	484
貸倒引当金	△12	△12
流動資産合計	32,503	31,103
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,475	4,409
機械装置及び運搬具(純額)	4,932	4,727
土地	4,353	4,368
その他(純額)	1,725	2,410
有形固定資産合計	15,486	15,915
無形固定資産		
ソフトウェア	84	85
その他	949	962
無形固定資産合計	1,034	1,047
投資その他の資産		
投資有価証券	342	336
繰延税金資産	547	502
保険積立金	175	175
その他	23	27
投資その他の資産合計	1,089	1,041
固定資産合計	17,610	18,005
資産合計	50,113	49,109

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	111	118
未払金	934	521
リース債務	87	73
未払法人税等	1,148	513
賞与引当金	639	611
その他	861	1,359
流動負債合計	3,784	3,197
固定負債		
リース債務	30	24
役員退職慰労引当金	59	—
退職給付に係る負債	589	598
資産除去債務	201	204
その他	34	92
固定負債合計	914	919
負債合計	4,698	4,117
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	988	988
資本剰余金	1,036	1,036
利益剰余金	42,678	42,206
自己株式	△3,125	△3,125
株主資本合計	41,578	41,105
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21	18
為替換算調整勘定	3,845	3,896
退職給付に係る調整累計額	△30	△28
その他の包括利益累計額合計	3,836	3,885
純資産合計	45,414	44,991
負債純資産合計	50,113	49,109

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2021年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)
売上高	4,728	6,105
売上原価	1,638	2,455
売上総利益	3,090	3,649
販売費及び一般管理費	1,376	1,901
営業利益	1,713	1,748
営業外収益		
受取利息	28	21
為替差益	176	—
作業くず売却益	5	10
その他	4	5
営業外収益合計	215	36
営業外費用		
支払利息	0	0
シンジケートローン手数料	0	0
外国付加価値税等	4	—
未稼働用地関連費用	11	8
為替差損	—	38
その他	0	0
営業外費用合計	17	49
経常利益	1,911	1,736
特別利益		
保険解約返戻金	5	—
固定資産売却益	0	4
受取賠償金	—	60
特別利益合計	6	64
特別損失		
固定資産除却損	2	0
役員退職慰労金	33	—
訴訟関連費用	—	0
特別損失合計	36	1
税金等調整前四半期純利益	1,881	1,799
法人税、住民税及び事業税	405	454
法人税等調整額	153	45
法人税等合計	559	500
四半期純利益	1,322	1,299
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,322	1,299

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2021年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)
四半期純利益	1,322	1,299
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6	△3
為替換算調整勘定	435	50
退職給付に係る調整額	3	2
その他の包括利益合計	431	49
四半期包括利益	1,754	1,348
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,754	1,348

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

（時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年9月1日至2021年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	サージカル 関連製品	アイレス針 関連製品	デンタル 関連製品			
売上高						
外部顧客への売上高	1,305	1,339	2,083	4,728	-	4,728
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	1	-	1	△1	-
計	1,305	1,340	2,083	4,729	△1	4,728
セグメント利益	466	487	758	1,713	-	1,713

II 当第1四半期連結累計期間(自2022年9月1日至2022年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	サージカル 関連製品	アイレス針 関連製品	デンタル 関連製品			
売上高						
外部顧客への売上高	1,637	2,081	2,386	6,105	-	6,105
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	0	-	0	△0	-
計	1,637	2,081	2,386	6,105	△0	6,105
セグメント利益	476	595	677	1,748	-	1,748

(重要な後発事象)

該当事項はありません。